**生活援助サービス整理シート**

**このシートは生活援助サービスの必要性を整理するためのものです。　同居家族の有無に関わらずこのシートを活用してください。質問に沿って整理し、サービス担当者会議（以下、担会）で生活援助サービスの必要性を検討してから、ケアプランに位置付けてください。**

**同居家族がいる世帯に生活援助を位置づける場合は、ケアプランor担当者会議の記録において、下記★に該当する部分に下線をし、相談票・確認票と一緒に提出してください。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **問１　本人の現在の家事能力についてはどれに当てはまりますか。**   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | **家事** | **①本人のみで**  **できる** | **見守り的援助（裏面参考）を受けて** | | | | **②すべてできる** | **➂一部できる** | **④できない** | | **掃除** |  |  |  |  | | **洗濯** |  |  |  |  | | **調理・配下膳** |  |  |  |  | | **買い物** |  |  |  |  | |  | **↓** | **↓** | **↓** | **↓** | | 生活援助の必要なし | | ★家事ができない心身の状況を  ケアプランor担当者会義の記録  に記載　問２へ | | |
| **問２　本人が家事を行うための道具の活用や環境調整について、検討しましたか。**   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | **生活援助を**  **希望する家事** | **①検討していない** | **②検討したらできる** | **検討した** | | | **➂一部できる** | **④できない** | |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  | | **↑問１で➂④に〇した家事を記載** | **↓** | **↓** | **↓** | **↓** | | 生活援助の必要性を再検討 | | ★検討過程を担当者会義の記録  に記載　問３へ | | |
| **問３　本人が家事を行うための心身状況をリハビリ専門職や医師へ意見聴取しましたか。**   |  |  |  | | --- | --- | --- | | **生活援助を**  **希望する家事** | **①聴取していない・聴取できない** | **②聴取した** | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | | **↑問１で➂に〇**  **した家事を記載** | **↓** | **↓** | | ★参考にしていない・できない理由を  担当者会義の記録に記載　問４へ | ★参考内容を担当者会義の記録  に記載　問４へ | |
| **問４　家族の支援やインフォーマルサービスの活用はできますか。**   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | **生活援助を**  **希望する家事** | **①できる** | | | **②できない** | | **同居家族** | **別居家族** | **インフォーマル** | |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  | |  |  |  |  |  | | **↑**  **問１で➂に〇を**  **した家事を記載** | **↓** | **↓** | **↓** | **↓** | | 生活援助の必要性なし | | | ★検討過程を担当者会義の記録  に記録 (要支援のみ問５へ) | |
| **問５　生活援助的サービスを算定するにあたり、訪問型サービス従前相当（専門職によるサービス提供）で位置付ける場合は、★理由を担当者会義の記録に記載してください。** |

|  |
| --- |
| （参考）見守り的援助　　老振発０３３０第２号平成３０年３月３０日  **１－６ 自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）** |

○ベッド上からポータブルトイレ等（いす）へ利用者が移乗する際に、転倒等の防止のため付き添い、必要に応じて介助を行う。

○認知症等の高齢者がリハビリパンツやパット交換を見守り・声かけを行うことにより、一人で出来る　だけ交換し後始末が出来るように支援する。

○認知症等の高齢者に対して、ヘルパーが声かけと誘導で食事・水分摂取を支援する。

○入浴、更衣等の見守り（必要に応じて行う介助、転倒予防のための声かけ、気分の確認などを含む）

○移動時、転倒しないように側について歩く（介護は必要時だけで、事故がないように常に見守る）

○ベッドの出入り時など自立を促すための声かけ（声かけや見守り中心で必要な時だけ介助）

○本人が自ら適切な服薬ができるよう、服薬時において、直接介助は行わずに、側で見守り、服薬を促す。

○利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う掃除、整理整頓（安全確認の声かけ、疲労の確認を含む）

○ゴミの分別が分からない利用者と一緒に分別をしてゴミ出しのルールを理解してもらう又は思い出してもらうよう援助

○認知症の高齢者の方と一緒に冷蔵庫のなかの整理等を行うことにより、生活歴の喚起を促す。

○洗濯物を一緒に干したりたたんだりすることにより自立支援を促すとともに、転倒予防等のための見守り・声かけを行う。

○利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行うベッドでのシーツ交換、布団カバーの交換等

○利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う衣類の整理・被服の補修

○利用者と一緒に手助けや声かけ及び見守りしながら行う調理、配膳、後片付け（安全確認の声かけ、疲労の確認を含む）

○車イス等での移動介助を行って店に行き、本人が自ら品物を選べるよう援助

**○上記のほか、安全を確保しつつ常時介助できる状態で行うもの等であって、利用者と訪問介護員等がともに日常生活に関する動作を行うことが、ＡＤＬ・ＩＡＤＬ・ＱＯＬ向上の観点から、利用者の自立支援・重度化防止に資するものとしてケアプランに位置付けられたもの**